

べっぴん 市議会だより

2010.11.1

No. 99



平成22年7月26日に行われた第8回べっぴん子ども市議会

「別府市保健センターの設置及び 管理に関する条例の制定について」など可決

C O N T E N T S

- P2～P3 議決内容ほか
- P4 議案質疑「共同温泉・町内公民館に要する経費について」等
- P5～P10 一般質問（19人が市政を問う）
- P11 第8回べっぴん子ども市議会
- P12 子ども市議会スナップ集

補正予算

◎平成22年度別府市一般会計
補正予算 (原案可決)

今回補正する額は、2億4千990万円の増額で、補正後の予算額は、総額435億830万円となります。

総務費では、地上デジタル放送に対応するためテレビ共同受信組合を設立し、施設整備を行うとする明礬地区と天間の木ノ根原地区に対する共聴施設整備事業費補助金及び前年度剰余金の確定に伴い、地方財政法第7条第1項の規定に基づき、別府市財政調整基金積立金の追加額を計上しています。

民生費では、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を財源として、スプリングラの整備を行う認知症高齢者グループホームに対する補助金を計上しています。

衛生費では、別府市保健センター管理運営経費を計上しています。

この保健センター「湯のまちけんこうパーク」(愛称)は、乳幼児から高齢者までの健康教室や各種健診、健康料理教室など本来の保健センターの機能に加え、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て、「夜間こども診療」や「別府口腔保健センター」といった診療所機能を備えた全国的にも珍しい施設であり、別府市民の健康づくりの拠点となる施設として、本年12月のオープンに向け、準備を進めています。

観光費では、今年度末の九州新幹線全線開通に伴い、九州地域が注目される中、日本一の温泉天国と日本屈指のグルメ王国としての大分県の底力をアピールするとともに、その最前線に立って「まちを誇り、まちを語る」県内各地のまちあるきガイドを集結させ、大分ツーリズムの飛躍を図ることを目的に、10月22日にビーコンプラザで開催される「おおいたツーリズムサミットIN別府」の実行委員会

負担金及び財団法人日本サッカー協会が、UEFA(ヨーロッパサッカー連盟)やアジアの指導者を招き、来年1月8日から10日までの3日間、同じくビーコンプラザで国内の指導者を対象として開催する「第7回フットボールカンファレンス」の実行委員会負担金を計上しています。

また、去る1月13日の大規模火災により焼失しました光町の此花温泉再建に伴う温泉建設等の補助金及び貸付金を計上しています。

教育費では此花温泉2階に併設される光町1区町内公民館建設等に係る補助金及び貸付金並びに本年度の成人式会場がべつぷアリーナで開催されることに伴う会場設営等委託料、更に体育施設整備に要する経費の追加額として、スポーツ競技団体の合宿やキャンプの誘致を推進するため、野口原総合運動場に冬芝を敷設する冬芝管理業務委託料を計上しています。

条例の制定・改正

◎平成22年度別府市競輪事業・公共下水道事業・介護保険事業・後期高齢者医療特別会計補正予算 (原案可決)

今回の各特別会計の補正総額は、8千58万3千円の減額で、これを既決予算に加えると、特別会計予算の総額は421億9千439万5千円となります。

◎外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の制定について (原案可決)

外国の地方公共団体の機関等に派遣される一般職の地方公務員の処遇等に関する法律第2条第1項及び第7条の規定に基づき、外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関し必要な事項を定める条例を制定するものです。

◎別府市保健センターの設置

及び管理に関する条例の制定について
(原案可決)

別府市保健センターを設置することに伴い、条例を制定するものです。

◎別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
(原案可決)

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部が改正され、児童扶養手当と非常勤消防団員等に係る損害補償との調整規定が改められたことに伴い、条例を改正するものです。

その他

◎工事請負契約の締結について(計3件について原案可決)

◇公営西別府住宅

C1棟新築工事

◇公営西別府住宅

C2棟新築工事

◇亀川小学校屋内

運動場改築工事

それぞれの工事請負契約の

締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。

◎動産の取得について(計2件について原案可決)

消防ポンプ自動車及び化学消防ポンプ自動車を買入れることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。

決算

◎平成21年度別府市水道事業会計決算の認定及び平成21年度別府市水道事業剰余金の処分について
(認定及び可決)

◎平成21年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成21年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について
(継続審査)

9月10日、決算特別委員会が設置され、閉会中も引き続き継続して審査することとなりました。

※本年は、委員会機能強化を図るため、委員数の増員、審査方法の変更をし、より慎重な審査を行います。

(◎委員長 ○副委員長)

◎首藤 正 ○松川 峰生
穴井 宏二 加藤 信康
原田 孝司 荒金 卓雄
松川 章三 乙咩 千代子
長野 恭紘 萩野 忠好
猿渡 久子 吉富 英三郎
黒木 愛一郎 平野 文活

人事

次の方が、9月17日の本会議において、それぞれの委員に任命等の同意がなされました。

◎別府市固定資産評価

審査委員会委員

徳田 靖之(再任)
永富 綱代(新任)

○人権擁護委員

林 道弘(再任)
安部 良子(再任)
内田 淳子(再任)
友永 良子(再任)

○監査委員

高森 克史(新任)

議員提出議案等

議員より2件、委員会より1件の意見書が提出され、可決されました。
可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

《議員提出議案》

- 完全な地上デジタル化放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書 (原案可決)
- ひとり親家庭医療費助成制度並びに重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書 (原案可決)

《委員会提出議案》

- ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がん予防ワクチンの定期接種・無料化を求める意見書 (原案可決)

9月定例会 会期の経過

8月30日 議会運営委員会

9月1日 本会議(請願の取り下げ、議案上程、提案理由の説明)

6日 本会議(議案質疑・委員会付託)

7日 本会議(一般質問)

8日 本会議(一般質問)、議会運営委員会

9日 本会議(一般質問)、議会報・ホームページ委員会

10日 本会議(一般質問)

14日 各常任委員会

17日 議会運営委員会、本会議

(上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決)

※次の定例会は11月29日(月)から12月15日(水)を予定しています。
(変更となる場合もあります。)

議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

9月6日に4名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

共同温泉・町内 公民館に要する 経費について

問 今年の1月13日に発生しました大規模火災により焼失した光町の此花温泉と光町1区町内公民館の再建に伴う補助金と貸付金の内容について説明願いたい。

答 規定により、貸付金額は市有区営温泉の場合、工事に要した費用の50%以内とし、限度額が600万円となっています。また、補助金額は、貸付額が100万円以下の場合はその額とし、100万円以上の場合には上限が100万円となっているため、貸付金・補助金合計700万円を計上しています。

公民館新築に係る部分としては、建築費の3分の1以内の限度額の700万円、また、公民館新設用地に係る部分については、建設のための接道確保等用地取得概算費用額の

3分の1の額に相当する260万円をお願いしています。合計で貸付金は960万円を計上しています。

補助金については、公民館新築に係る部分として貸付額に応じた上限額150万円を、また公民館新設用地取得に係る部分については、貸付額の20%に相当する額の52万円、合計で202万円の補助金を計上しています。貸付金、補助金の合計額としては、1千162万円となっています。

これらの実際の執行に当たっては、自治会からの最終的な貸し付け希望額に応じ予算の範囲内で貸付金・補助金を決定したいと考えています。

問 市有区営温泉と市の関係について伺いたい。

答 市有温泉施設等使用貸借契約を交わしており、その中で貸し付け物件の維持補修及び保存、利用、改良などの行為をするために支出する経費は、すべて借り主が負担する

という契約を結んでいます。

また、市有区営温泉の火災保険については、市長名で契約を結んでおり、掛け金については、各自治会等に御負担をお願いしています。

今回の此花温泉の再建に当たり、建設費が保険金を超える見込みであるため、貸付金・補助金を補正予算で計上しています。

保健センター管理 等に要する経 費について

問 経費の内訳等について説明願いたい。

答 施設の管理費関係経費4カ月分と、落成式等の記念行事の関係経費を計上しています。

施設の管理費関係については、清掃、警備、ごみ処理等の委託料、また光熱水費などが主な予算となっており、この管理費のうち医師会、歯科

医師会部分の光熱水費等については、実費負担をしていたり、だくことになっています。

問 保健センターは、現実的に地域密着というのが原点であろうと思うが、具体的な内容について説明願いたい。

答 保健センターの設置については多くの市民の方から要望をいただいていた中、通常の保健センターの業務に加えて、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力をいただいて診療所機能を設けています。

また、たくさんの市民の方に利用していただくために、これまで他の会場において実施していた乳幼児の健診や料理教室に加えて、新たな事業として、きめ細かな健康相談会等も保健センターで実施していきたいと考えています。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

9月7日から10日の4日間、19名の議員が市当局の見解をたしました。

主な内容は次のとおりです。

市立図書館建設と 発掘品の展示

日本共産党議員団

野田 紀子 議員

問 平成18年に3年から4年後、図書館の収納は限界になると考えるとのことだった。図書館運営専門家を設計段階からかわらせ、単独建物を簡素に、本とサービスは充実した市直営の新図書館が必要。教育委員会が、主導権を持って早急に建設していただきたい。

答 市直営の図書館の充実が必要。関係各課と十分に協議



出土された土器などの展示物

し、教育委員会として責任を持つて、その方向に行きたいという決意である。

問 別府には縄文時代から人が住んでいたようである。古墳や住居跡の発掘で出土した土器等は、別府市美術館にも展示してあるが、手狭でゴタゴタと並べ、壁の歴史年表は奈良時代から表示し、それ以前は省略している。教育的効果はない。教育、展示、出土品の保管、復元作業、調査研究の場所が必要である。「野口ふれあい交流センター」の一部を利用してはどうか。

答 教室棟の一部を利用して埋蔵文化財の展示室や保管庫。また、資料整理や、子ども達をはじめ住民に対しての講座ができる施設の設置を検討している。

全国学力テストでの 別府市の現状は

自民党議員団

松川 峰生 議員

問 今年度の全国学力テスト

は従来の全員参加から、全体の3割を取り出す抽出方式に切り替え実施されたが、別府市のテストの結果はどうであったか。

答 別府市の抽出校は小学校7校、中学校6校です。抽出方法は、文部科学省からの指示によります。抽出されなかった学校については、すべての学校が希望参加という形で参加しました。抽出校の結果については、全国の平均正答率（平均点）に達していません。なお、希望校についても同じ傾向にあります。

問 別府市の結果は、全国平均・県平均でも全てで下回り厳しい状況であるが、教育委員会としては、今後どのような取り組みを行っていくのか。

答 全国及び県平均に達していないことは大変遺憾であり、まずは、全国・県平均に到達することを目標として取り組みの充実を図らなければならぬと考えております。また、学校間の格差が依然ありますので、その格差を是正するため別府市の全ての学校・学級が同一歩調に徹底し、取り組

む事項を具体的に設定して進めて参ります。

南部振興について

市民みんなの会

国実 久夫 議員

問 実現性が低い都市計画道路東蓮田的ヶ浜線の計画を見直し、旧南小学校東側の旧国道を拡幅するような変更はできないものか。

答 現在、大分県が整備している都市計画道路浜脇河内線（県道別府挾間線）は、湯都ピア浜脇に面した都市計画道路浜脇丸尾線に接続し、東蓮田的ヶ浜線を経由して、市道秋葉通線に接続する計画となっています。東蓮田的ヶ浜線は、旧南小学校跡地の東側の旧国道ではなく、跡地の西側を通る計画となっています。現在、長期未着手の都市計画道路の見直しを行っており、前述の湯都ピア浜脇から市道秋葉通線までについては、必要性、優先性は高い区間であ

りますが、実現性が低い区間となつていますので、計画幅員縮小の変更を検討し、整備を行つていく路線として位置付け、また、旧南小学校跡地東側の旧国道への線形の変更等につきましては、旧南小学校の跡地利用等を含め、都市交通を総合的に勘案し、関係機関等との協議を重ねながら検討していく必要があると考えています。

公園利用について

自民党議員団

松川 章三 議員

問 市内には、163の公園があり、それぞれ市民の憩いの場として利用されているが、公園利用者のマナーが良くないという声をよく聞く。管理者としてどの様に対処しているのか。

答 苦情の多くはイヌの管理についてである。特にフンの始末をしない、リードを放している、またバーベキューや

花火をしている等である。対策として職員によるマナーの呼びかけ、現地での注意をしている。

問 今年6月に上人ヶ浜公園で、イヌの餌に釘を入れた物がばら撒かれ、ペットのイヌが食べた事件があったが、事件の原因は何だと思うか。

答 飼い主と一般利用者との間に、何らかのトラブルがあったのではないかと思われる。このような事件をなくするため、またイヌと人間が仲良く公園を利用し、飼い主にマナーを守ってもらうためにも「ドッグラン」が必要ではないのか。



答 「ドッグラン」の設置については、設置場所や管理の在り方につき課題が多い。他市の状況等を見ながら今後の検討課題にしたい。

市民福祉葬について

公明党

堀本 博行 議員

問 草加市は8月1日から市民福祉葬制度をスタートさせた。葬儀社と契約を結び、低廉な葬儀については、葬儀費の一部を市が負担する仕組み。葬儀経費は基本仕様（葬儀場、祭壇・葬祭用具、棺・骨つぼ、寝台車、火葬場）が25万円以内、直送（棺・骨つぼ、寝台車、火葬場のみ）が15万円以内である。市負担から除外される5万円についても、健康保険から支払われるため、喪主側の自己負担は全くない。高齢化社会を迎え、葬儀の在り方などが全国的に論議されている。葬儀費用は全国平均で230万円という。草加市

のような取り組みもあり、このような経済状況下で葬儀費の捻出に困っている方々について、別府市も市民福祉葬事業を実施してはどうか。

答 大変いい制度と思うが、葬儀社の理解と協力がないと出来ない。別府市社会福祉協議会が福祉葬祭事業を実施していたが、葬儀社側から「利用者もなく、料金も低廉で採算が合わない」とのことで、平成20年3月31日付で契約解除の申し出があった。別府市事業としての必要度、優先度をまず内部で協議したい。

問 行財政改革及び子ども会の現状

自民党議員団

首藤 正 議員

問 行財政改革を語るには、財政運営の弾力性を図る経常収支比率は最も注視すべきものである。70〜80%が健全と言われるが、21年度決算見込みはどうか。

答 21年度経常収支比率は、

94.9%、対前年度0.6ポイントの改善見込みです。主に退職手当債及び臨時財政対策債に依存した結果であり、厳しい財政状況に変わりなく、今後の悪化が懸念される所です。

問 学力向上に家庭と地域はどのような関係があるか伺いたい。

答 本年度、県が実施した学力調査の結果によると、家庭での習慣が重要な要素であり、さらに地域行事に参加する子どもの方が学力が高いという結果が出ています。

問 地域活動の核である子ども会加入率の低さを危惧しているが、今後どのように考えているのか。

答 先進県の状況からみても、別府市の子ども会加入率の低さを懸念しています。今後、関係団体と協議の場を持ち、加入率の向上、さらには学力向上に向けた取り組みを検討したいと考えています。



市内業者に仕事を 国保税引き下げを

日本共産党議員団

平野 文活 議員

問 市と商工会議所の「企業景況調査」によれば、ゆめタウンオープンによる経済波及効果は大幅なマイナスになっている。とくに中心市街地の落ち込みはひどい。市長選挙の前にゆめタウン誘致の功罪について、正確な調査をすべきだ。

答 市の独自調査は困難。国の商業統計調査などの結果を待つ。

問 火災による焼死防止のため、低所得者に住宅用火災警報器設置の助成を。

答 「自らの命は自らが守る」の原則のもとに、自己責任で設置してほしい。

問 テレビ難民を生まないため低所得者に地デジチューナーの支援を。

答 国などに要望を伝える。

問 業者の仕事確保のために、住宅リフォーム助成制度

の創設を。

答 市としての実施は困難。

問 別府市は国保税を低く抑えるための支援金を、長年負担してこなかった。国保税の引き下げのために一般会計からの繰り入れを。また生活困窮者には市独自の減免制度を。

答 いま以上の繰り入れや減免制度は困難。

中国からの観光客 受け入れについて

自民党議員団

乙咩 千代子 議員

問 上海万博において観光庁主催のイベント「ビジット・ジャパン・フェスティバル」の一環として、別府観光をPRする別府ウィークが開催されたとお聞きいたしました。今後、中国からのお客様が多くなると考えられますが、お迎えする側としてどのような課題がありますか。

答 まず、一般的な課題として、日本との距離の近さの割に他国と比較して旅行価格が

高いこと。また、優秀な中国語ガイドが不足していることや、交通案内や観光地案内などの中国語表示が少ないことが課題ではないかと考えられます。

問 課題への対応等を含めて、今後の具体的な取り組みについてお答えください。

答 個人観光ビザの解禁となった現在、今後多くの訪日観光客増加が見込まれると考えられますので、上海万博観光宣伝事業で構築出来ました幅広い人脈の活用、中国観光客の特性やニーズを十分に把握した優秀な通訳ガイドの養成、お客様を迎える都市としての観光案内板等の充実に努めてまいります。

まちなか観光案内所 について

公明党

六井 宏二 議員

問 6月議会で質問した「コンビニを活用したまちなか観光案内所」について進捗状況

はどうなっているか。

答 市外からの車の通過が見込まれる国道10号線等の幹線道路沿いのローソン9店舗について、観光客から多数のご請求をいただいております観光案内地図や、別府の食観光パンフレットを準備し、お客様にご提供していただくようお願いしました。現在、市内全店舗において観光マップ等の提供が可能か確認中とのことで、9月中旬ごろには提供ができる予定です。

問 早い対応に感謝申し上げます。コンビニは誰もが気軽に立ち寄れる、年中無休で24時間営業であり、顔と顔を合



わせて訪れたい所などを案内し、観光客をおもてなしする。別府に好印象を持ってもらうのに打ってつけの場であると思う。私もいくつかの店舗を回ったが、「旅行者からの道案内等の問い合わせが多い。」と聞きました。今後、他のコンビニも含めた展開の成功を祈りたい。

答 観光地図のみならず、食観光をはじめとする幅広い情報の提供をお願いしてまいります。

別府の将来像 について

新創世会

長野 恭紘 議員

問 国が本格的に海外からの観光客誘致について動き出した。中国からの観光客に対しての要件緩和などもその典型例だろう。観光を資源と見て魅力的なまちを創り、観光客にお金を落としてもらい、そのお金で市民が豊かになるという考え方こそ今後の国際観

根を残さないように市もよく検討して下さい。

市民スポーツの 推進と 森林の保全

市民クラブ

加藤 信康 議員



利用者も多い実相寺多目的グラウンド

所在不明問題と 国保の広域化

市民クラブ

原田 孝司 議員

問 全国的に高齢者の「所在不明」問題が起きているが、別府市ではどのような実態なのか。

答 この問題が報じられ直ちに調査した結果、100才以上の高齢者48名については確認ができた。現在70才以上の方々についても自治会等を通して確認している。

問 大分市小野鶴新町では、ボランティアで小地域福祉ネットワークを組織し、地区の高齢者の方々を見守る活動をしている。他の自治体の取り組みを参考にしている。他の自治体の取り組みを参考にしている。他の自治体の取り組みを参考にしている。

答 調査研究するとともに、自治会等へ協力を要請していきたい。

問 現在、大分県では国民健康保険を県内の全市町村による共同運営で進める「広域化支援方針」の策定を検討して

光温泉文化都市・別府に必要な発想だ。カジノ構想についても議員連盟の発足など、早ければ2015年にも日本の許可が認められるという話もある。シンガポールではこの4月にカジノを中心とした総合娯楽観光施設がオープンし、5万人の雇用創出、GDPを年0.6%押し上げるとの試算がある。国内競って各市が誘致合戦を始める事になると思うが、市としては本気で取り組む考えがあるか。

答 市民の間にも賛否両論あり、今後の国の動向を注視していきたいと考えています。

問 九州では3ヶ所程度が許可される可能性がある。地域百年の計ともなり得る施策です。耳と鼻を利かせて今後の動向を注視するべきだ。

旧近鉄百貨店 跡地について

自民党議員団

萩野 忠好 議員

問 中心市街地活性化基本計

画の核事業である旧近鉄百貨店跡地に榑本多産建の複合マンション計画がありますが、現在の経済情勢下で見通しはあるのか。もしこの計画がとん挫した場合は中心市街地活性化計画の目標値をクリアできるか伺います。

答 中心市街地活性化基本計画ではこのマンション建設で千人程度の定住人口増を見込んでいますので目標値には大きく影響します。

問 この土地は別府駅前通りに面した別府では最も重要な場所に位置しています。市として買い取りの意思を示す事も解決策であると考えます。利用の方法は美術館・図書館・博物館ほかが入る複合的な建物が出来れば中心街の賑わいの再生に寄与する施設となります。是非、榑本多産建と協議してみてください。

答 現時点では民間事業者が複合マンション建設の意向である以上、土地については協議できないと思う。

問 財源については、市債の発行によって市民の理解をお願いし、この土地について禍

問 スポーツ観光誘致に力を入れることはよいことだが、市民は多目的グラウンドなどのコンディショニングの悪い土のグラウンドに追いやられている。市内スポーツ団体からの要望の把握や、練習場所の確保についてどう考えているか。また、市民の利用が多い実相寺多目的グラウンドの整備を進める予定があるか。

答 様々な要望は何っているが十分把握できていない。練習場所の確保についてもニーズに十分応えられているとは言えないため、今後はきめ細かに要望等を調査すると共に、市民スポーツ振興とスポーツ観光誘致のバランスに配慮していきたい。多目的グラウンドの整備については関係各課

と協議、検討していきたい。

問 別府市は戦後の経済成長期に多くの市有林を伐採し、その後植林した木がそろそろ成熟しつつある。今後の利用についてどう考えているか。

答 近年、森林は材木価格の低迷により、水源の涵養や国土保全の役割へと変化している。本市も伐採期を延ばし、景観保持のため広葉樹と針葉樹の混成林への移行を図るなど、観光別府にふさわしい森林作りに努めたい。

いるが、別府市としてどのようなに考えているのか。

答 これは国保の財政安定化を図るために大分県においても検討委員会が設置され協議が進められている。別府市としては、これ以上の国保及び国保加入者の負担を増やさないことを念頭に置き取り組んでいる。

浜田市政下の

観光浮揚施策

について

市民の声クラブ

池田 康雄 議員

問 平成15年6月の浜田市長誕生直後の議会で、市長は市内外の全国的世界的知識人、専門家を招集して「別府観光推進戦略会議」を設立することを宣言した。にもかかわらず7年経過しながら別府観光はその低迷から脱却しきれていない。その大きな要因の一つに市長はその会議が提唱している、短・中期の各11項目の具体的施策を実現していないことにあるのではないか。



整備が進む「第4埠頭」

答 確かに提言された項目が実現できていないことは認めるが、ONSENツーリズムの概念を大切にしながら、いま一生懸命に取り組んでいます。

問 観光港第4埠頭の西側に出来るイベント広場が芝生化されて来春は完成されると聞いている。隣接する上人ヶ浜公園の犬のフン害の苦情が続発していることも考慮し、新設されるイベント広場内の犬の連れ込み禁止を試行期間付きでも考えるべきではないか。市内の公園のどこも、安心して

て歩き、座ることのできない状況は飼い主のマナーの問題だけとして看過できないと考える。快適な空間づくりの一步を踏み出すべきだ。

大分県地震被害 想定について

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

問 大分県は平成20年3月に、県内全域で被害が想定される5地震6ケースについて「地震被害について被害想定調査」を実施しました。調査によると、別府く万年山の活断層で、冬18時にマグニチュード7.2程度の地震が発生した場合、全壊・焼失家屋6万3913、半壊4万1713の被害が想定されています。地震による同時出火に対応できるのか。

答 別府市消防力だけでは十分な対応はできない。今後、消防力の向上に向けて全力で取り組みたい。

問 活断層は、玖珠の万年山く湯布院く鶴見山く堀田く朝

見く府内く三佐に続いている。地震調査会は、別府く万年山活断層の地震発生を危惧している。別府市は、大分県減災アクションプログラムに沿って、木造住宅や学校、保育園などの耐震化や家具等の固定化を進める責務を負っています。また、住宅の耐震工事60万円の補助金を出してはいるが進んでいない。補助金の増額など減災のために予算を配分して早急に耐震化を進めるべきですが見解を求めます。

答 いかに別府が活断層の上にあるか改めて恐怖を感じる。十分な対応をしていきたい。

問 来年度から、清掃活動の対象個所に加えたい。

答 作業場所の割当てや場所ごとの責任者も決めないまま、作業手順の説明や指示が不十分に思う。もっと丁寧に

海岸海浜清掃奉仕 活動について

公明党

荒金 卓雄 議員

問 7月の海岸海浜清掃奉仕活動の実施状況は。

答 平成2年度から今年で21年目。今年度は7月18日に、朝8時から約1時間、スパビ1千、上人ヶ浜、関の江海岸、



多数の参加がある海岸海浜清掃

作業手順を見直すべきだ。

答 手順の見直しは、餅ヶ浜ビーチを加える来年度の実施状況を検証してから見直したい。

問 砂浜でごみを収集するのに、便利な「ふるい」を使ったらどうか。

答 今年は、ごみ収集がしやすい様に「ザル」を購入して使用した。来年度は、「ふるい」を購入したい。

社会福祉会館の

目的と利用状況について

自民党議員団

吉富 英三郎 議員

問 別府市社会福祉会館は、福祉活動の拠点として、また、障がい者や福祉関係者の連絡調整の場として福祉ニーズに積極的に対応し、さらには市民への文化活動の推進、生きがいを持って明るく楽しく暮らしていける社会づくりの場を目的としていると言うが、現実の問題として障がい者用駐車場は車2台分、障がい者



福祉活動の拠点「別府市社会福祉会館」

用トイレは1つしかなく、福祉活動の拠点と言いながら、施設の使用にあたり福祉団体利用者の利便等については全く配慮がなされていない。利用者等の意見及び要望を把握するため、利用者等を対象としたアンケート調査等を実施すべきではないか。

答 社会福祉会館の運営管理等につきましては、現在、指定管理者となっており別府市社会福祉協議会に任せています。社会福祉協議会との基本協定書の中に、平成22年4月1日付で利用者等へのアンケート調査を実施することを盛り込んでいますので、調

査結果を踏まえて改善すべき点は早急に改善していきたいと考えております。

市長退職金の大幅引き下げを

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

問 選挙のたびに支給される市長など特別職の退職金の額は。

答 4年間で、市長は約2千620万円、副市長は約1千500万円、教育長は約596万円、水道企業管理者は約586万円となっている。

問 別府市長の退職金は、全国類似団体及び県下でも支給率が一番高い。市民所得は低く国保税は全国トップクラスに高い状況がある一方で、特別職退職金は大幅引き下げすべき。せめて半額カットを。市長自ら引き下げの姿勢を示すべき。

答 退職金の問題は、どなたが市長になっても職責や状況等を、公正な立場の第三者機

関の特別職等報酬審議会に判断していただくのがよい。11月に審議会を開くが、引き下げの方向で審議されるものとして理解している。

問 宇佐市や日田市は市長の任期中半額カットしている。前回は受け取った後引き下げたが、今度は大幅引き下げした額で受け取るべき。

問 小中学校や幼稚園に早急に扇風機の設置を。

答 計画的に早期に設置したい。

中国人観光客

誘致元年を期待して

自民党議員団

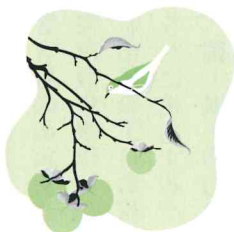
清成 宣明 議員

問 上海万博の別府宣伝を皮切りに、先般発表された来年度5回にわたる中国観光船の別府寄港は、まさに中国人観光客誘致の元年になると思われる。多くの課題、問題点があるが、その準備に向けて積極果敢に取り組むべきと考える。予算に関しても新規計上

をしてでも万全を期すべきである。査証をはじめとする規制緩和はいいことばかりではなく、問題点も多く、1日も早い取り組みを期待する。通訳、ガイドはもちろん、カード問題等々、事前に解決しておかねばならない事に真剣に取り組んでほしい。

先進地に学び、将来に貢献できる体制づくりに、空路開設をも視野に入れた観光行政に期待する。

答 関係各種団体、企業と連携を密に先進地を学び、リピート客としてまた訪れてもらえるような企画、おもてなしを考慮に入れながら努力を重ねてまいりたい。市民に対してもアピールし、継続できるように、またAPUをはじめ留学生のみならずにも協力していただき、文字どおり国際観光温泉文化都市を目指したい。



子ども市議会について

趣 旨

各小中学校の代表者が議員となって自分たちの住んでいる別府の諸問題、未来について、自ら課題を見つけ自ら考え、模擬市議会を体験することにより、市議会の重要さとふるさと別府を愛することの大切さを学ぶとともに、子どもたちから出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営に活用するため開会するものです。

参加者

- 子ども議員 各小学校高学年の代表者 (15名)
各中学校の代表者 (8名)
- 執行部 市長・副市長・教育長・水道局長ほか各部長
- その他 議長・副議長・子ども会を支える議員連盟議員・市子連会長・市P連会長・関係者

内 容

- 子ども議員の中から選出された議長、副議長が議事を進行する。
- 子ども議員が市執行部(市長ほか)に質問し、答弁を求める(一般質問)。
- 子ども議員が市に対して提言を行なう。
- 「子ども宣言」を採択する。

『別府と私たち』子ども宣言

私達は、日本有数の温泉地「別府」で今日まで過ごしてきました。その中でたくさんの事を学び、経験しました。そして今日、この子ども市議会を通して別府についてもっと深く考えることができました。

別府市は山と海に囲まれ、豊富な温泉や、伝統工芸竹細工、湯けむりなどの美しい景観もあります。さらに、別府市民や別府に住んでいる外国の人たち皆が別府を愛しています。

私達が大人になって、社会に出たときも別府市で過ごせて幸せだと思えるように、次のことを誓います。

- 1 別府市に住む外国の人たちとの文化の違いを理解し合い、協力して、さらに過ごしやすい別府にします。
- 2 観光客のみなさまが、また来てくださるよう、温かくお迎えし、気持ちよくお送りします。
- 3 別府で過ごしてきたことに誇りを持ち、充実した毎日を過ごします。

以上のことを宣言いたします。



平成22年7月26日 べっぴ子ども市議会

第8回「子ども市議会」提言

- 1 留学生と交流を深める機会を設け、別府を「第2のふるさと」と言ってもらえるようなまちづくりをしてほしい。
- 2 星がとても綺麗にみえる少年自然の家「おじか」に、プラネタリウムを建設して、町おこしにつなげてもらいたい。
- 3 今後、校舎の改修工事など小中学校の設備について考える機会がある時に、私たち生徒の意見を聞いて、一部でも取り入れてほしい。
- 4 別府の良さをたくさんの人に知ってもらい、観光客に来てもらうには、まずは別府市民自身が別府市の観光スポットについて知り、実際に体験して感じる必要があるため、観光スポットを、親しみを感じ、訪れやすいものとしてほしい。

第8回

べっぷ 子ども市議会



スナップ集

議長



大野 桃菜 議員
(朝日中学校 3 年)

副議長



河野 幸正 議員
(鶴見台中学校 2 年)

一般質問



木崎 晴崇 議員
(青山小学校 6 年)



藤内 裕夢 議員
(上人小学校 6 年)



松元 眞仁 議員
(南小学校 6 年)



佐藤 康義 議員
(西小学校 6 年)



加藤 春樹 議員
(南立石小学校 6 年)



山口 萌 議員
(東山小学校 6 年)



河野 稜佳 議員
(石垣小学校 6 年)



堀 優香 議員
(緑丘小学校 6 年)



平江 天希 議員
(亀川小学校 6 年)



松本 美月 議員
(春木川小学校 6 年)



伊藤 健太 議員
(大平山小学校 6 年)



峰 桃花 議員
(別府中央小学校 6 年)



古賀 華季 議員
(朝日小学校 6 年)



小手川 雄紀 議員
(境川小学校 6 年)



山形 莉沙 議員
(鶴見小学校 6 年)

提言



國賽 遼河 議員
(浜脇中学校 2 年)



安部 厚希 議員
(東山中学校 2 年)



清末 有紀 議員
(山の手中学校 2 年)



久知良 桃花 議員
(北部中学校 3 年)

子ども宣言



興田 航平 議員
(中部中学校 3 年)

謝辞



吉田 麻純 議員
(青山中学校 2 年)

